

京都検定 公開テーマ よもやま話

第32回

京都検定講演会講師による「よもやま話」。京都検定を通じて、京都の魅力を再発見しましょう。

第29回京都検定1級公開テーマ「寛永文化・寛永行幸」

寛永文化と寛永行幸の光芒



山村 純也
株式会社らくたび
代表取締役

寛永期（1624～1644

年）は、戦国時代の荒廃を経た京都が、新たな文化的成熟へと向かう転換点でした。徳川政権が安定を確立するなか、京都では公家文化と武家文化に、成熟した町衆文化が融合した「寛永文化」が花開きます。

そのハイライトとして位置づけ

られるのが、後水尾天皇による「寛永行幸」です。寛永3年（1626）9月、天皇が二条城へ行幸し、徳川

派の絵師が手掛けました。金地に松や虎が躍動する画面は、武家権力の威信と美意識を鮮やかに示しています。

5日間の滞在中、天皇に対して

贅を尽くした料理をはじめ、舞楽、能、和歌、管弦等、最高級の文化芸能が披露され、馬や調度も献上されました。また、天皇の強い希望により、天守には二度も登られたことが記録されています。

そして2026年12月6日、長

らく語り継がれてきたこの「寛永行幸」が、ついに現代によりがえります。京都御所から二条城へ向かう行列は、約400年の時を超えて寛永の雅を再現し、その歴史的瞬間を、私たちはまさに目の当たりにすることになるのです。

行幸の舞台となった二条城に

は、そうした寛永文化の粋を凝縮した空間が新たに創出されました。天皇が滞在するための行幸御殿が造営されるとともに、二の

丸御殿も大規模に改修され、障壁画は狩野探幽を中心とする狩野

寛永行幸の舞台となった二条城。
唐門の華麗な装飾は、当時の権威と美の結晶を象徴している。



画は狩野探幽を中心とする狩野

※「京都・観光文化検定試験」®、「京都検定」®およびそのロゴマークは、京都商工会議所の商標です。無断で使用することはできません。

第29回 京都検定の
申し込み受付は

8月17日(月)より

開始します！

試験日

2026年12月13日(日)

〔3級〕10時～

〔2級・1級〕13時30分～

試験会場

京都市内・東京都内の施設

試験級・受験料

〔3級〕3850円（団体3080円）

〔2級〕4950円（団体3960円）

〔1級〕7700円（団体6160円）

※団体割引については、1団体で10名以上の受験者をとります。お申し込みいただくことが条件。

申込期間

〔個人〕8月17日(月)～10月19日(月)

〔団体〕8月17日(月)～10月9日(金)

公開テーマ

〔3級〕京都の伝統産業

〔2級〕豊臣家と京都

〔1級〕寛永文化・寛永行幸



▲京都検定の
詳細はこちら
または
京都検定

※京都検定では「公開テーマ」に関する問題が各級10問出題されます。